

平成29年度今治市民活動センター指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市民活動センター
所在地	今治市別宮町8丁目1-55
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 今治NPOサポートセンター</p> <p>代表者 理事長 井手 克彦</p> <p>住所 今治市別宮町8丁目1-55</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>市民環境部 市民生活課</p> <p>TEL: 0898-36-1530</p> <p>E-mail: seikatu@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>設置目的、基本方針を指定管理者組織内（理事会開催）、利用者相互（利用者協議会開催）で共有し、市民活動団体の拠点として利活用促進に努めた。</p>	A	<p>施設の設置目的、基本方針について、指定管理者として理解し、施設利用者にも理解を求めた上で、施設が地域の公益的な市民活動の拠点となり、市民活動の活性化に繋がるよう、積極的に取り組みが行われている。</p>
使用状況	B	<p>利用者参画型の運営に努めることができた。貸事務所は利便性を評価いただき、また3団体の新規登録があり、活発に使用いただいた。より使用の促進、施設の認知度向上に努めたい。</p>	C	<p>会議室利用者数は使用団体の退出もあり昨年度より大きく減少している。利用者アンケート調査の結果から現在の利用者の満足度は高いといえる。市民活動について、今後も引き続き広く周知することにより、これまで使用したことのない方達も含め使用促進に努めていただきたい。</p>
事業収支	A	<p>利用者のニーズを勘案し、施設・設備の老朽化に伴う改善に対応した。予算の範囲内でソフト・ハード両面のサービス維持に取り組んだ。</p>	B	<p>老朽化する施設設備、設備機器については、利用者のニーズや施設の使用状況を考慮し、限られた予算の中で適切に対応されている。</p>
管理運営体制	B	<p>二人体制で施設の管理運営業務を適切に進めることができた。県外研修に副責任者、県内情報交換に総括責任者が参加し、中間支援の現況把握に努めることができた。</p>	B	<p>仕様書に基づいた人員配置で、利用者に対する適切な対応と職員間の情報共有により安定した管理運営が認められた。中間支援のNPO法人として職員のスキルアップにも努めている。引き続き計画的な研修受講等限られた人数のなかで対応できるようにしていただきたい。</p>
管理業務	A	<p>仕様書に定められた業務を適切に遂行できた。日常的に利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズに沿った運営、支援活動を行うことができた。</p>	B	<p>植栽及び清掃管理業務において、仕様書の基準以上に実施し、適切に管理が行われている。施設使用者と共に清掃を実施することにより、施設関係者の美化意識の向上が図られている。外壁等外回りの管理強化をお願いする。</p>
運営業務	B	<p>日常的な相談、ボランティアコーディネーター業務を丁寧に行うことができた。講座等の充実により、来館者の増加、施設の認知度向上につなげたい。</p>	C	<p>講座の開催及び相談業務において、基礎部門から応用部門まで、市民活動の活性化に向けた取り組みを評価する。今後、市民活動団体の運営や活動支援等中間支援やコーディネート業務の充実や新たな市民活動の担い手開拓等により、更に市民活動の活性化に努めていただきたい。</p>
使用業務	B	<p>利用者協議会の意見を反映し、参画型の運営ができた。機関紙及びFMラジオなどを通しての団体同士の連携や情報発信に力点を置いた運営ができた。</p>	B	<p>使用規定に基づき、施設は平等かつ公平に使用されている。また、機関紙、FMラジオ、ホームページ等により情報発信を行い、使用促進に努めている。今後も新たな利用者ニーズの把握やその対応、本施設の認知度向上を図り、新たな利用者開拓や本施設の活性化に努めてほしい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	B	訓練、研修を通して、スタッフ・使用者が危機管理意識を高める方策をとることができた。	B	避難訓練、ミーティング及び日常点検の実施により、危機管理意識について高い意識を持ち安全確保に努めている。また、使用に関しては、柔軟な対応がなされている。
修繕業務	A	点検巡視を行い、備品・施設の安全性の把握に努めることができた。限られた予算の中で効果的な対応に努めることができた。	B	限られた予算の中で必要な修繕を見極め、計画的に実施できている。
備品管理業務	A	使用者の声を反映した貸出備品を整えることができた。共用備品を丁寧に使用できるよう適切な管理に努めたい。	A	使用者のニーズに配慮した備品購入を行い、計画的な環境整備に努めている。今後も費用対効果を意識した備品購入と適切な使用及び管理に努めていきたい。
自主事業	B	コミュニティFMの協力のもと、市民活動の魅力発信に努めた。最新情報を伝えたり、団体への参加を促したり、具体的な支援につながるよう尽力したい。	B	地元FMラジオにおいて、市民活動団体側と市民活動を支える側の双方の声を届け、市民活動の活性化に繋がる情報発信がなされている。今後も更なる施設や市民活動の情報発信を行ってほしい。
地域団体との連携	A	中間支援組織との情報交換などを行った。施設の立地自治会等との情報交換、出張相談の機会を活用しての周辺地域のコミュニティ組織との関係づくりを促進したい。	B	他市の中間支援組織との意見交換、地域の市民活動団体との交流により、情報の収集・共有が行われている。今後、昨年度も課題に挙げられていた自治会等地域コミュニティ組織との連携に努めていきたい。
使用者アンケート	A	良好な評価をいただいた。ソフト・ハード両面でいただいた具体的な意見を、業務遂行上の参考し、今後のよりよい運営に生かしていきたい。	A	アンケート調査により寄せられた使用者の意見を反映した管理運営がなされている。
事故・苦情	A	日常的な巡回や点検により、苦情につながる案件への早期対応に努めた。ニーズ把握、ニーズへの迅速な対応が共にできた。	A	当該年度において事故の発生はなく、苦情も出なかった。使用者の要望に対して、迅速かつ柔軟な対応がなされている。安全確保、利便性向上を意識した組織体制が確立されている。
指定管理者の経営状態			事業報告、財務諸表等を確認した結果、指定管理者の経営状況については健全かつ安全に運営されていると認められる。	

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市民活動センター条例、施行規則及び業務仕様書に基づき、施設の設置目的、基本方針に沿って、概ね適切に管理運営を行っている。

研修により職員の資質向上を図るとともに、機関誌発行、FMラジオ等による情報発信、現場体験ツアー及び市民活動相談会の開催等、市民活動の活性化に向けた取り組みは評価できる。また、職員間で情報共有がされており、安定した施設管理運営がなされている。

引き続き、サービス水準を維持しながら使用者に対する柔軟かつ適切な対応と意見収集により、市民活動の拠点として施設の使用促進を図り、情報発信による市民活動の活性化に努めるとともに、今後、本施設の認知度向上や新たな使用者の増加を図ること、市民活動団体の中間支援の充実強化、施設を活用した情報発信事業やボランティアコーディネート事業の充実、地域コミュニティ組織との交流に努めていきたい。